

議会だより

おかげさ



平成21年度の当初予算は骨格予算
3月定例会概要版 2

①岡垣町職員の勤務時間等に関する条例の一部改正について
②平成21年度岡垣町一般会計予算について 4

反対VS賛成討論

一目でわかる

賛成・反対表

7名の議員が登場

一般質問

わたしの話を聞いてください

住民の声

住民懇談会の開催予定

編集後記など

14

13

9

8

4

2

平成20年度一般会計補正予算

定額給付金 5億300万円

平成21年度一般会計予算

73億600万円の骨格予算(前年比2.5%減)



元気な町にしてね

第1回定例会は3月2日から3月23日までの22日間の日程で開催され、平成21年度一般会計予算を含む19議案と、人事案件、請願1件、陳情1件の審議を行いました。

主なものは

- ① 平成20年度一般会計補正予算と他特別会計、企業会計補正予算
- ② 平成21年度一般会計予算と他特別会計、企業会計予算
- ③ 副町長の選任
- ④ 町個人情報保護条例の一部を改正
- ⑤ 町職員の勤務時間及び休日、休暇等に関する条例の一部改正
- ⑥ 町制度融資の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正
- ⑦ 町道路占用料徴収条例の全部を改正
- ⑧ 町道路線の認定及び廃止について

平成21年度 一般会計・特別会計当初予算

一般会計		73億 600万円
特別会計	国民健康保険事業	36億1963万円
	老人保健事業	2488万円
	後期高齢者医療	4億7240万円
	住宅新築資金等貸付事業	109万円
水道事業会計	収入	7億 758万円
	支出	8億8820万円
下水道事業会計	収入	17億1172万円
	支出	20億6468万円

※水道・下水道事業会計は公営企業会計のため、収益的、資本的な収入支出を合算して表示しています。

平成20年度
一般会計補正予算(第4号)

歳入	
○おかがき応援寄付金 (ふるさと納税5名分)	54万円
歳出	
○定額給付金	5億300万円
○農道維持工事	275万円
○子育て応援特別手当	1800万円
○商工会補助金(プレミアム商品券)	600万円
○道路維持補修工事	2000万円
○サンリーアイ大規模改修工事など	7330万円
○耐震診断等委託料(岡垣中・吉木小)	2479万円

平成21年度一般会計歳出予算

△基金より1億9000万円を繰り
入れて財政調整

○妊婦健診(14回)、乳幼児健診委託料	2723万円
○森林整備工事	481万円
○商工業者融資預託金	5000万円
○町営住宅維持補修工事(三吉・龍王)	1940万円
○私立幼稚園就園奨励金	6675万円
○障害者地域自立支援協議会運営負担金	1.4万円
○エンゼルプラン策定事業	442万円
○休日歯科診療補助金	10万円
○感染症予防事業	1956万円
○三里松原再生計画補助金	323万円
○中学校パソコンリース料	433万円
○文化協会(20周年事業含む)補助金	123万円

人事



副町長に
山田敬二氏を同意

請願書・陳情書

○遠賀川流域の安全・安心を求める請願書
不採択

○保険業法の制度と運用を見直し、自主共済
を保険業法の適用除外にすることの意見書
提出を求める陳情書
不採択

全員協議会の議題

- 岡垣町地域再生計画
- 第二次男女共同参画基本計画
- 第二次岡垣町公共交通体系整備計画
- 岡垣町高齢者福祉計画
- 岡垣町障害者の基本計画・障害福祉計画
- 岡垣町健康増進計画
- 議会の改革と活性化

間及び休日、休暇等に 改正する条例



反対

下川路 勲 議員



一日15分の労働時間短縮です。17時30分の退庁が17時15分の退庁となることです。

住民サービスを重視した組織づくりや、行政は住民との協働による町づくりと言いつつ、人事院勧告に準じてと言いつつ、地域手当支給の見直しはしない。他町ではこの手当を減額し経費削減を計っている。

労働時間の短縮を考えるのならばその対価である給料を減額するのが筋である。町職員の中でも、地域の行事や出ごとの作業には協力しない自分は

矢島 恵子 議員

別格だと思っている節があり、このような状況の時、時短となれば世間の風当たりは一層強くなることもつけ加えて反対討論とします。

百年に一度と言われる厳しい経済状況と行財政状況の中で、一層の住民福祉の増進が求められています。

今、公務員制度改革や人事院の在り方についてもいろいろと議論されており、このような時期に人事院勧告だけに追従するのではなく、地方の経済財政状況の中で住民の理解が得られるような制度を確立すべき時期だと思えます。

このような状況下で勤務時間の縮減に伴う、サービス低下を招かない具体的な施策や、労働役務の対価である給与等、特に地域手当について、十分議論されていないことから、私は、この議案に賛成することは出来ません。



ゆっくり、わかりやすく、説明お願いね

討

岡垣町職員の勤務時間に関する条例の一部を

賛成

西田 陽子 議員

時短は世界的な流れであり、ワークライフバランスの点からも賛成はします。しかし、町がH17年から行ってきた行財政構造改革では住民サービスを掲げ開庁時間を他市町に先がけて、30分延長したこととの整合性はどうか。住民サービスは担保されるのですか。閉庁15分前には4人しか来庁者がなかったからだといわれるが、それなら3年間分のコストは誰が責任を負うのでしょうか。あまりにコスト意識がなさすぎる。さらに町長が変わろうとも行政の継続性、一貫性は当然あるべきで、何でも変えていいというものでもありません。住民サービスの低下にならないよう求めます。

三角 善彦 議員



人事院勧告に基づく議案です。論点は、行財政構造改革の取り組みのひとつ、住民サービスの向上を目的に、役場の開庁時間を延長したこと(15分間)との整合性が取れないのではないかと、この点です。委員会審議の際、『分権時代のだから国の方向性に左右されない形づくりが必要とも考える』との答弁が示すように、執行部も当議案については戸惑いがあったのではと思います。対策として、住民に周知が図られるまでの期間は、可能な限り窓口対応を行うなどが挙げられます。

大堂 圀治 議員

住民サービスを落さない実行努力を

国連の機関である国際労働機構(ILO)は日本へ労働時間の短縮を求めています。

労働条件が悪い中で造られた製品は買わないと言う、不買運動が欧米で発生しています。輸出大国である日本にとって困った問題であり、労働条件も国際レベルに合致させることが求められています。

今回は人事勧告を受けての改正であり、従っていかなければなりません。住民サービスを落さない実行面での工夫(昼休み・休日の開庁)を取入れていくべきです。

実施に当たっては、住民への周知徹底を図って欲しい。

木原 信次 議員



議案第6号に関し、賛成の立場から討論をいたします。

この議案は、岡垣町の職員の勤務時間を、現行8時間から、7月1日より、平成20年12月26日に国家公務員の勤務時間が、7時間45分に改定されたことに準じて、7時間45分とするものであります。岡垣町では現在閉庁時間が17時30分となっており、これが15分短縮されます。このことで住民に対してのサービスが低下することがないよう、曜日を限って、18時迄窓口を開ける工夫等していただく必要があります。職員は心身共に健康を保ち、住民サービスの向上に更に努めるよう求めます。



垣町一般会計予算

反対

西田 陽子 議員

妊産婦健診14回等々評価すべき点は多々あります。しかし昨年343人の監査請求で見直しを求めた食糧費400万円は全く削減されていません。他市町では既に見直ししており、飲食なしでまちづくりを行っています。中間市91万円、水巻町92万円、直方市120万円です。また、国の基準に合わないとして近隣は廃止を決めている職員の1800万円の地域手当は、新町長執行体制に変わった今だからこそ当初予算で廃止すべきでした。その分住民サービスに回せます。さらに従来より町が行ってきた行革との矛盾も多々あり、そもそも本来の聖域なく見直していく行革とは程遠く、賛成するわけにはいきません。

平山 弘 議員

岡垣町の「構造改革」は、固定資産税の税率アップ。町立保育所の民間移譲、文教施設利用料、老人憩の家入浴料、上下水道料金、重度心身障害者タクシー利用券、介護用おむつ支給、敬老祝品などの見直し、廃止を実施・計画して、住民負担を強いるものです。手話通訳派遣事業の見直し、妊産婦健診の公費負担の拡大、商工業者への支援、雇用対策事業の取組みなどの予算化は評価します。町長は「構造改革」の一定の見直しも言いましたが、この「構造改革」を進めて行くという、町長の姿勢には賛成できません。



パパも参加、育児相談



「あ〜あん」大きくお口をあけて



討

平成21年度 岡

賛成

竹内 和男 議員

最初の骨格予算ですが、民生費で知的障がい者支援事業、重度障がい者医療費、身体障がい者施設訓練等支援事業や町独自の特定疾患患者見舞金事業を含む29項目に総額4億971千円をあて、一定の「障がい者福祉費」を確保していること。また、児童福祉では、乳幼児医療費や児童手当など3億1889万円を措置し、児童の健全育成と子育て家庭への支援の充実を図ろうとされていること。妊婦健診を従来の3回から14回に拡大され、さらに里帰り健診も出来るよう配慮されていること。町住への維持補修費を確保し、居住福祉の増進等評価し賛成するものです。

山田 隆一 議員



平成21年度一般会計予算は宮内町長としての初の予算です。骨格予算とはいえ、百年に一度という不況時で少ない財源の中から「総務費」「民生費」「衛生費」「農林水産費」特に「民生費」での障害者に優しい政策を打ち出し、手話通訳派遣事業の無料化、また、「衛生費」では、少子化の対応策として妊産婦健診の公費負担を3回から14回に増やす、また、「商工費」では、商工業者の深刻な不況に対処するため、制度融資による預託金を3千万円から5千万円に増資するなど、町民の皆様が安全で、安心して暮らせるような施策が多く含まれている。また、我々の質問に対しても自分の言葉で誠実に、また、丁寧に答弁されている。

このようなことを高く評価し賛成討論といたします。

三角 善彦 議員

行財政構造改革の取り組みについては評価の分かれるところですが。

宮内新町長のもと、骨格予算(13P参照)審議の際、公約である、元気なまち『おかがき』実現のため、例えば、①財政面②組織面の見直しを断行する決意、その覚悟に対して私は評価を申し上げます。

①については、一般会計から特別会計への繰り出し金(下水道事業は約4.7億円、国民健康保険事業は約2.8億円)が予算組みを困難にしている現状を踏まえ、求められる対策に言及されたこと、②については、先ずは町長自身の給料を見直すことに着手されたことなどが挙げられます。

会報「えがお」最終号

議会にも毎回届けられてきた「岡垣町手をつなぐ親の会」(障がい児・者をもつ親の会)が10年にわたって発行してきた会報「えがお」が3月をもって最終号となりました。

親たちの苦しみ、悲しみ、そして喜びの率直な生の声がいっぱいにあふれ、様々な状況の中でも「えがお」で生きていこうという凛とした強い意志が伝わってきました。

しかし、今、親たちの高齢化や当事者たちの自立支援への遥かなる道のりを思うと改めて行政や議会の役割を再認識せざるをえません。本当にお疲れさまでした。そしてまた、新たな形での「えがお」に出会えたらいいなと思っています。





20 議案ほか請願・陳情について

議員の賛成○・反対●・除斥除・退席退・欠席欠

採決日	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
3月2日 副町長の選任について 3月3日 平成20年度補正予算6件 3月23日 岡垣町個人情報保護条例の一部を改正する条例他5件 平成21年度予算7件 請願・陳情	結果	石井要祐	久保田秀昭	三角善彦	西田陽子	木原信次	下川路勲	藤崎光	大堂圀治	平山弘	竹内和男	曾宮良壽	山田隆一	市津広海	矢島恵子	横山貴子
副町長の選任について	賛成多数同意	○	欠	○	●	○	●	●	○	退	○	○	除	○	●	○
岡垣町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町職員の勤務時間及び休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数可決	○	欠	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町制度融資の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町道路占用料徴収条例の全部を改正する条例	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度 岡垣町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度 岡垣町老人保健事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度 岡垣町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度 岡垣町下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町一般会計予算	賛成多数可決	○	欠	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町老人保健事業特別会計予算	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数可決	○	欠	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町水道事業会計予算	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町下水道事業会計予算	賛成多数可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
福岡県自治振興組合の共同処理する事務の変更及び福岡県自治振興組合規約の変更について	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町道路線の認定及び廃止について	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遠賀川流域の安全・安心を求める請願書	賛成少数不採択	●	欠	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●
保険業法の制度と運用を見直し、自主共済を保険業法の適用除外にすることの意見書提出を求める陳情	賛成少数不採択	●	欠	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●

町政を問う

一般質問



竹内

定額給付金事業を万全に！

町長

3月末から通知書を送付する



竹内 和男 議員

竹内 今まさに、日本経済は、時ならぬ暴風にさらされています。米国発の金融危機の直接的・間接的な影響が輸出企業を中心に、大きな広がりを見せている。こうした中、我が国の二次補正予算で給付が予定されている「定額給付金」の事業の万全な推進をすべきであるが答弁を！

町長 岡垣町の補正予算が可決したので、今後準備を進め、3月末から4月上旬には全世帯へ通知書を郵送し、4月から5月の間に口座振込み又は窓口にて定額給付金の給付を予定している。同時に、商工会が発行するプレミアム付商品券

に補助金を出して、町の消費活性化を促進したい。

商品券の発行総額は6千万円。プレミアム率は10%で、5月連休明けの発行を目指して調整している。

竹内 同じく二次補正で国から交付される「地域活性化・生活対策臨時交付金」での事業推進をどう図る予定か。

町長 この交付金の目的は、国の定める「地方再生戦略」及び「生活対策」に対応した事業を、地方公共団体が実施し、地域活性化等の速やかかつ着実な実施を図ることとしている。

その上で、中小企業の活性化や地域の消費拡大と安全安心な暮らしを目指している。

具体的には、道路維持補修工事、農道維持工事、プレミアム商品券発行のための商工会補助金、サンリーアイ大規模改修工事や壁面改修及び遊具改

修を行い、地域活性化対策臨時交付金の目的である岡垣町の地域活性化を図る予定である。



発展する海老津駅前

大堂

「障がい者にやさしい町づくり」の宣言を

町長

計画に沿って施策の実績を挙げて 将来的に宣言したい



大堂 園治 議員

大堂 障がい者家族の生活実態は厳しい環境である。どのように認識しているか。

町長 様々な問題を抱え、大変な苦勞をなされていると認識している。

大堂 岡垣町の障がい者の実数を掘^かんでいるのか。

町長 3障がい者の総数で1968人である。

大堂 精神を損なう方が増えてきている要因は、経済優先で進めてきた戦後の日本社会の歪みではないかと思われるが。

町長 私もその通りで世の中が便利になるが、心は豊かになつていっているのだろうかと思う。

大堂 障がい者自身が自立するためには、就労支援策の充実

が重要であり、役場内に専門的なプロジェクトチームを設置して、対策を強化すべきと思うが。

町長 障がい者にとって何が適切な就労、仕事になるのか、十分に調査検討しながら進めていきたい。

大堂 町の障害者計画書の手法と進捗はどのようになっているか。

町長 障がい者の生活実態やニーズを把握して、関係団体等と一緒に作製しており21



24時間駅伝で頑張る障がい者

年度から施策の実行をしていきたい。

大堂 施策の実行に当ってはノーマライゼーションの理念の実現を目指して、住民一体となつて取り組む事が重要だと思ふが。

町長 障がいの有無にかかわ

石井

新規農業就業者の受け入れ状況は？

町長

県及びJA等と連携し4名の就農を受け入れている



石井 要祐 議員

石井 対策の一つとしての新規農業就業者の受け入れの状況はどうなっているか。

町長 農業の活性化を図るため、福岡県やJA等と連携して受け入れ体制を確立して現在4名が就農している。

今、福岡県では緊急雇用対策事業に取り組んでいるので町としても此の事業を充分周知し農作業に従事する人材の確保を支援していきたい。

尚、漁業従事者の就労促進については大変厳しい状況だ。

石井 農林水産業の振興での課題の中、都市とのつながりを

らず、地域住民が共に支え合い交流することが、安心の町づくりにつながると思う。

大堂 福祉の実行機関である社会福祉協議会と役場との連携を強化すべきだが。

町長 私もそのように思っているので強化していきたい。



がんばってます！

いかした生産から消費ルートまでの検討はどうなっているか。

町長 町としては消費者ニーズに沿った農産物の供給や生産者の顔が見える販売活動を促進している。

現在町内の数箇所に生産者直売所があるが其の中で町内を中心とした新鮮な野菜、果物、米、波津漁協で水揚げされた鮮魚等を販売している「やっばあ〜岡垣」があり北九州市方面からも多くの人が訪れている。

また、今年度より上高倉地区において「そばオーナー制度」に取り組み15組の参加があり其の内4組の町外からの参加があつた。

横山 国は妊婦健診の公費負担を拡充するが町の取組みは

町長 平成21年度より14回の公費負担を実施する



横山 貴子 議員

横山 政府が発表した第2次補正予算に、妊婦健診14回無料化が盛り込まれ、多くの市町村が14回の公費負担化を決定している。岡垣町としての取り組みは。

町長 町の財政状況を考えると厳しい状況だが、妊婦健診の必要性、重要性を考え、平成21年度より公費負担による健診回数を14回にする。

横山 里帰り健診についての対応は。

町長 領収書を基に償還払いに対応する。

横山 国の予算措置は2年間の限定となっているが、これ以降の対応は。

町長 方向性としては継続し

たいと考えている。

○インフルエンザの予防接種の助成について

横山 現在12歳未満の子供は6000円から8000円かかっている。子育て家庭においてはかなりの負担になる。

子育て支援の一環として、また、感染予防の観点からも助成を望むが。

町長 現在、任意接種として町としては、国の動向および



たいせつな母子手帳

近隣市町の考えを聞きながら今後の課題として受け止めた。

横山 任意のことなので、近隣市町村に関係なく、町独自の考え方でよいのでは。

町長 県内ではまだ1市1町

矢島

各学校の良好な環境づくりについて問う

町長 校舎の老朽化など、改修の必要性は認識している



矢島 恵子 議員

矢島 安全で快適な学校環境の整備充実について尋ねる。

町長 今3月議会に岡垣中学校と吉木小学校の耐震診断の事業費を計上した。

この耐震診断結果を踏まえ、耐震補強工事で良いのか、改修の必要性が生じるのかを見極めながら取り組みたい。

山田小学校の児童数の増加については、一時的な社会現象

しかしていない。ワクチンの効果・評価が確定してない現状である。町の財政の中から言えば、状況・効果の部分を充分検討しながら答えを出していきたい。

によるものと考えている。

このことについては建設しているプレハブ教室等に対応したいと思っている。

矢島 小中学校の児童生徒数等の含めた学校規模の検証について問う。

町長 現在の校区を維持していくほうが良いと考えてるので、校区の再編については考えてない。

教育長 校区の再編を考える基本として、小規模校が複式学級になるような状況が生じる時や校舎の改築、学校の規模、通学方法などを総合的に



吉木小学校校舎

判断する必要がある。現状では校区の再編に取り組む状況にはないと考えている。

矢島 学校給食の食材を積極的に地産地消で行い農水産業の振興がはかれないか。

教育長 給食食材を安定的に供給できる体制を確立するには、地場産物と業者からの納入を調整しながら行う必要がある。

今後関係機関等と連携を図りながら、積極的に地産地消に取り組み、安心・安全で栄養のバランスの取れた学校給食を提供していきたい。

平山

雇用対策と業者支援を！

町長 3月補正予算と6月補正予算で対応する



平山 弘 議員

平山 日本の景気は異常かつ急速で墜落するような勢いで悪化している。

町民と町内業者もその影響を大きく受けているが、町民の雇用状況と町内業者の経営実態をどう把握しているか。

町長 町内に限定した指標はないが、県内では完全失業率が5.0%と上昇し、有効求人倍率も0.53%と悪化している。

経営実態も平成20年度の企業倒産件数は545件、前年比+8.1%と悪化している。岡垣町商工会の会員数の増減はないが、廃業、破産、解散の事由による脱退が15件あり、会員外でも同様と承知している。

平山 町民の雇用拡大と町内業者の経営支援の具体的な方策を、どう考えておられるか。

町長 県の雇用対策基金を活用し6月の補正で計上予定していく。

経営支援も、住民生活密着した道路維持や農道維持工事やプレミアム商品券の発行のための商工会補助など業者の活性化の予算を3月補正で計上した。

平山 ふるさと雇用再生特別



景気対策は内需拡大で

交付金や緊急雇用創出事業は、町として具体的にどういう考え方で計画していくのか。

町長 緊急雇用、ふるさと雇用事業は、平成21年度から1500万円、22年度1500万円の雇用をすることで、6月議

会で予算計上するようにしている。

中身は環境パトロール事業だとか、海岸線を中心とした環境美化、不法投棄の回収などになろうかと思う。

西田

特別職の加算を見直しせよ

町長 議員の報酬については報酬審議会への諮問は考えていない



西田 陽子 議員

扱いは何か。

町長 H2年の人事院勧告で民間の役職と同じように国家公務員に25%加算され、国会議員は45%である。地方議員の重責に対して相当だ。

西田 H3年に議決され、職員に加算15%に伴って特別職は20%となっているが、地方自治法の中には根拠となる条文はない。町条例には定めてあるが、40%が芦屋町、25%が粕屋町等10町、20%が遠賀等8町、15%が鞍手町等14町、10%が小竹町等3町村、0%が2町で全体の中では岡垣町は上位だ。町の条例を変えれば税金の削

西田 県下38町村の中で岡垣町の議員報酬は上位5位である。その地域の面積や人口要件もあり、定数2名減もあり、一概に言えないが、期末手当(ボーナス)3.5ヶ月分の20%加算は報酬審議会に諮り廃止してもよいのではないか。町長は特別職の報酬を削減すると公約されており、議員も痛み分けすべき。またこの20%加算の根



議会への関心も高まる

減ができる。削減金額はいくらなのか。

町長 議員319万円特別職143万円だ。人事院の勧告を受けての制度であり、町も取り入れている。すぐやめると言うことにはならない。

西田 H2年の社会状況と今は大きく違う。篠栗町や桂川町で0%とできることが何故岡垣町でできないのか。またこのことは住民にはほとんど知らされていない。もっとオープンにして議論すべきだ。

町長 私は必要と考えており、議員の報酬については、現在報酬審議会に諮る状況にない。

※他に職員厚遇問題と受動喫煙防止について質問しました。

住民の

声

議 会 を 傍 聴 し て



波津区
山川 香奈子

働く新成人を表紙にした斬新な1月の「議会だより」は興味深く、一気に読みました。

改めて知る情報が多く驚き、新町長の誕生もあり、早速3月の定例会への傍聴を決めました。が、実際行ってみると、団塊世代以上の方が殆どで若い世代は私一人でした。

議会では、町民の要望や意見が町政に反映されるよう入念な調査に基づいて訴える議員の姿に感動しました。

さらに強く思ったことは、岡垣町が住民のためのより良い行政を進めていくためには、私たちが積極的に声を議会に届けて行かなくてはいけないということです。

町の情報を集約し、問題点を指摘しなければ、これからも住み続けたい町にならないという事です。

たとえば、わざわざ出かけていなくてもホームページで事

前に一般質問の内容や本会議の会議録を閲覧することができ。情報プラザも活用できます。

今回の傍聴を通して、議員さん方に直接聞いてみようと思う事がたくさん出てきました。友人、知人にも今回の体験を伝えていこうと思います。

今後必要な情報をわかりやすく届けてくれる「議会だより」を期待しています。

『くらしとモラル』

住民の目線から



三吉区
石田 彰

私は障害者自立支援を受けているパート社員です。日々の厳しい暮らしの中で、特に町の公費の使われ方に厳しい視線を注いでいます。

これまで食糧費や職員の厚遇の問題などが議論されましたが、議員の個人レベルの動きだけが目につき、大事なお金の問題に議会がどのように取り

組もうとしているのか、その意思が全く見えて来ません。

予算編成も議会は町に丸投げしているように見えます。議会での議論がもっと活発に行われ、予算に反映されるべきと考えます。

また、決算は毎年決まって赤字と発表。多額の町債や貯金の取り崩しを考慮すると町の家計は実質赤字と言わなければなりません。

しかし町と議会の関係が円滑になってしまい、水面下での調整が計られているように見え、何が起っているのか住民にはまるでわかりません。

破綻した夕張市と同じ構造であり、実態が知らされなければ開かれた議会とは言えません。

議会と町は、人口が減り高齢者が増え、自治体財政がもたなくなる未来を、きちんと見据えなくてはなりません。

「住民が主役」の町づくりのために今、一番求められているのは、一円の公費もムダに使わないという、町職員と議員一人一人の意識の変革です。

骨格予算とは？

町長選挙などで、1年間の行政活動を全てにわたって予算計上することが困難な場合などは、義務的経費を中心に予算編成されます。

この場合は次の議会で、補正予算として政策的な経費などを肉付けして予算編成することになります。

議会住民懇談会について

議会は、議会改革の一環として住民と歩む議会を目指しています。

このことから今年度も6月定例会後に議会住民懇談会の開催を予定しています。



昭和と平成の海老津駅前



すくすく育て岡垣の竹の子
特産品をめざしチャレンジ！（上畑区）



自治功労賞を受けた下川路議員

次の定例会は

6月5日 開会の予定

○今年も住民懇談会を開催予定
詳しくは13P

編集後記

石井 要祐

1月21日に進水した「宮内丸」が経済大不況下のもと世界中の大海原が大荒れの中出航した。

1月27日の臨時議会での所信表明を経て町行政と町議会が、車の両輪の如き心が通う元気で安心して住める「おかがき」を目指した航海が始まった。

町民注目の3月議会では山田敬二副町長が誕生し、新執行部のもと各議案の審議、審査が行われたが、これからも監視船「議会チエック号」がしっかりと責務を果たし、町民の付託に応えたい。

国の景気対策としての「定額給付金」それに伴った地元商工の浮揚策としての「プレミアム商品券」発売等の補正予算が可決したが、これを景気浮揚に活用して頂き、町が元気になる事を期待したい。

発行責任者

議長 太田 強

議会広報特別委員会

委員長 三角 善彦

副委員長 横山 貴子

委員 石井 要祐

委員 西田 陽子

委員 平山 弘

委員 竹内 和男